

藤本、松沢、
大山氏が登壇

県会一般質問

六月定例県議会は一般
質問四日目の二十二日、

藤本正人(自民) 松沢邦
翁(同) 大山忍(同) の
三氏が登壇した。

藤本氏は、くぬぎ山自
然再生の進め方と三富地
区の農業振興策を質問。
松沢氏は、ごみ焼却灰と
溶融スラグの利用促進に
ついてたまたした。

大山氏は少子化対策と
子育て支援を取り上げ、
県の考えを聞いた。

二十三日は、鈴木義弘
(自民)北堀篤(同)神谷裕
之(同)の三氏が登壇す
る。(2面に一問一答)

藤本 正人氏

(自民)

くぬぎ山公有地化の
財源確保は
上田知事 秋には自然
再生協議会を設置し、具
体的な事業を展開する。



保全手法としては緑地保
全地区の指定が効果的。
財源は基本的に国庫補助
制度の活用や環境税の導
入などを考えている。
― 県西部に小児病院を

県西部に小児病院を

建設できないか
伊能健康福祉部長 県
としては、西部地域にお
ける高度の診療機能を備
えた中核的な医療機関の
整備促進と、小児科病床
を持つ病院の救急医療体
制を充実することで対応
していきたい。
― 狭山茶振興のための
支援策は
杉田農林部長 茶業特
産研究所で新品種を育成
するほか、省力低コスト
の機械施設を整備。本年
度からはハサップ方式を
取り入れた衛生管理、履
歴情報を提供するモデル
集団の育成を図る。

県会 傍聴席

「パレットスクール
は浦和商业高校定時制
の代わりにはなれな
い」。二十二日の一般
質問で、藤本正人氏
(自民)が熱く訴えた。
県教委は浦商、与野、
蕨の三定時制高校を廃
止し、昼夜開校型の
「パレットスクール」
を設置する方針。浦商
を見学した藤本氏は
「生徒と先生が一体に

なって学校づくりをし
ている。自主的に駅前
で(廃校反対の)署名
をしたり、在籍率も高
い。県教委が目指す学
校の特色化を行っている」
と大絶賛。「なん
とか残せないのか」
「五年くらい導入期間
を与えては」と再々質
問まで粘った。

「浦商残せ」 県議も熱く

だが、稲葉喜徳教育
長は「浦商のいいとこ
ろをパレットスクール
に引き継ぎたい」と同
じ答弁に終始した。
浦商にいる約八割の
生徒が不登校を経験。
生徒と先生が対等に討
論するなど自由な雰
気の中、意欲を取り戻
した生徒も多い。計画
で決まっているからと
言って機械的に進める
のではなく、もっと柔
軟な対応があってもい
いと思うのだが。

(小出菜津子)